

18  
1496



再會親子錢獨樂

三味戲作

通山

信之



再會親子錢獨樂

月給箱



二卷



夫錢

萬室の親がなれば人は是知立して王者と

よん

親愛まう事兄貴の如くおれを弘かんと

号

錢精自稱の上清高子ハけつめ息子

乃番

俱尔親子兄弟名有愛子記を

子母

錢の青鉄の血能を引く。何中ひく世とを

め

親子尋子ハ親を慕ふらう

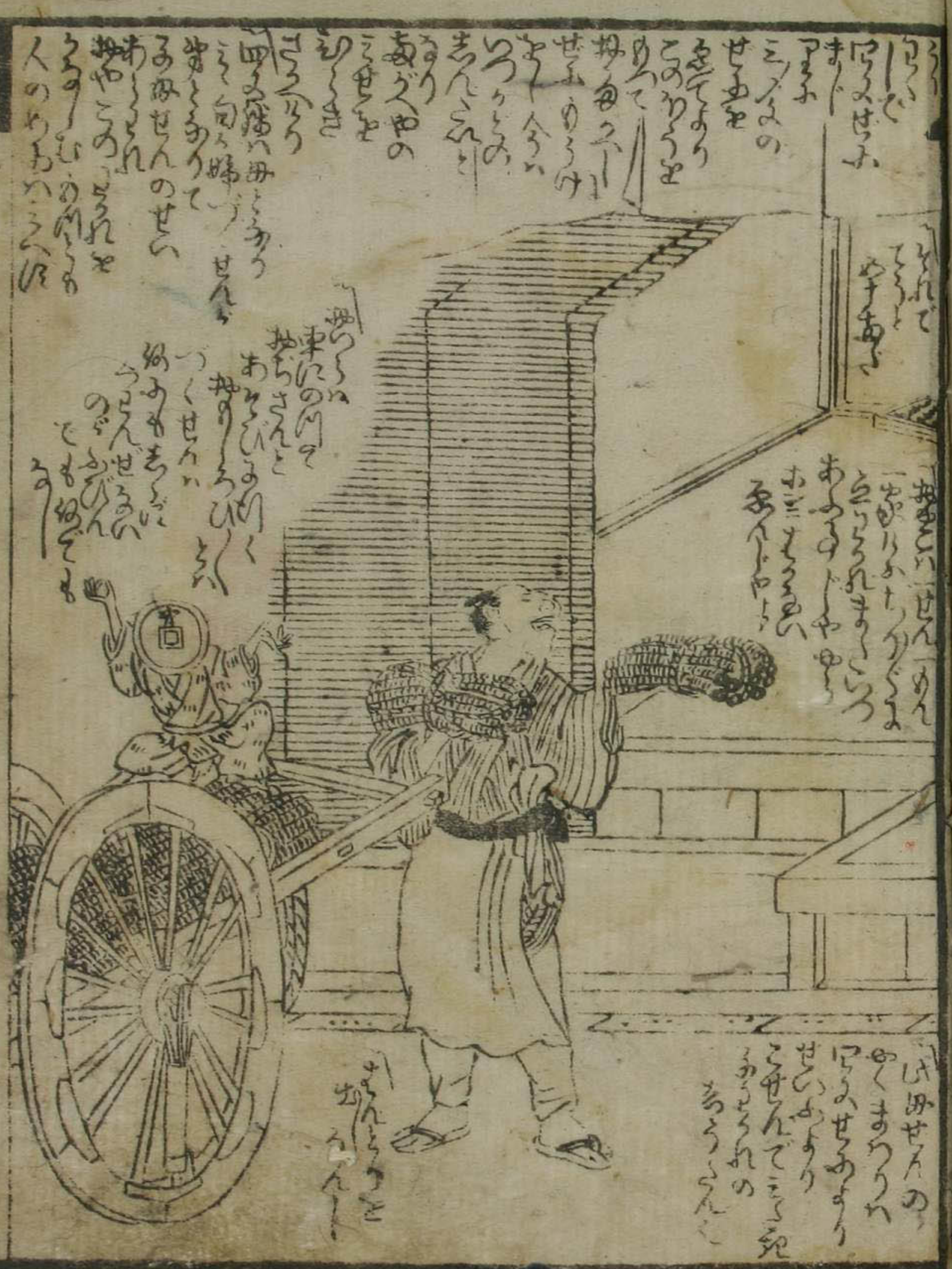
相會

と始終と趣向と

南来参和四五斗ぬくと名を採

せいの















再會親子錢搦樂中

り  
ぐりわんがマこのせん  
三味戯作

通油町



はな屋



秋きあはれと  
さきふさふさ  
のきふさふさ  
月夜ふりあ  
せんいひひ  
らつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ

あれが  
きふさふさ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ

あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ  
あつれはひ







あつちへんり  
あけけ  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり



あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり  
あつちへんり





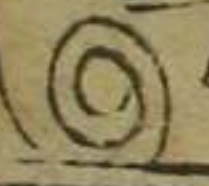


再びの教子抄巻下

三味戯作

通油町

はなご







御前のこころを  
よきことせしめ  
さすなりけり  
いづれもその  
いふこと  
さすなりけり  
いづれもその  
いふこと

さすなりけり  
いづれもその  
いふこと

このあはれ  
大いなる  
仕合

さすなりけり  
いづれもその  
いふこと

十一

二





あんなに  
 こころい  
 らぬ  
 あれ  
 こころ  
 あんぎ  
 こころ  
 あんぎ

あんなに  
 こころい  
 らぬ  
 あれ  
 こころ  
 あんぎ  
 こころ  
 あんぎ



あんなに  
 こころい  
 らぬ  
 あれ  
 こころ  
 あんぎ  
 こころ  
 あんぎ

あんなに  
 こころい  
 らぬ  
 あれ  
 こころ  
 あんぎ  
 こころ  
 あんぎ

あんなに  
 こころい  
 らぬ  
 あれ  
 こころ  
 あんぎ  
 こころ  
 あんぎ



あがのい  
まのい  
あはれ

あがのい  
まのい  
あはれ



あがのい  
まのい  
あはれ  
あがのい  
まのい  
あはれ  
あがのい  
まのい  
あはれ

あがのい  
まのい  
あはれ

あがのい  
まのい  
あはれ

あがのい  
まのい  
あはれ

あがのい

あがのい

三人の...  
おつ...  
おつ...  
おつ...  
おつ...  
おつ...

あつ...  
あつ...  
あつ...

あつ...  
あつ...  
あつ...



あつ...  
あつ...  
あつ...

あつ...  
あつ...  
あつ...  
あつ...  
あつ...

あつ...  
あつ...  
あつ...



あつ...  
あつ...  
あつ...

あつ...  
あつ...  
あつ...

淡

家小あつた人の海客の  
山をたふして  
つうの月のころ  
きよさのせい  
おののせい  
おののせい  
おののせい  
おののせい  
おののせい

三和作

政下

賚  
銭  
子  
爲

海  
右  
機  
親

隔  
銭  
緑  
爲

山  
通  
用  
主

八  
一  
ハ

